令和６年11月定例教育委員会会議録

令和６年塩尻市教育委員会11月定例教育委員会が、令和６年11月21日、午後１時30分、塩尻総合文化センター２階大会議室に招集された。

会　議　日　程

１　開　会

２　前回会議録の承認

３　教育長報告

報告第１号　　主な行事等報告について
報告第２号　　12月の行事予定等について
報告第３号　　後援・共催について

４　閉　会

○　出席委員

教育長	赤　羽　高　志	教育長職務代理者	碓　井　邦　雄
委　員	徳　武　あ　ゆ　子	委　員	甕　　剛
委　員	八　島　思　保		

○　説明のため出席した者

こども教育部長	百　瀬　一　典	交流文化部長	胡　桃　慶　三
こども教育部次長（こども未来課長）	竹　中　康　成	交流文化部次長（社会教育スポーツ課長）	上　條　史　生
学校教育課長	上　條　　崇	文化財課長	古　畑　比　出　夫
教育施設課長	五　味　克　敏	平出博物館長	小　松　　学
保育課長	塩　原　清　彦	市民交流センター長（図書館長）	矢　澤　昭　義
主任学校教育指導員	村　上　　啓		

○　事務局出席者

教育企画係長　　佐　藤　智　樹

１　開会

赤羽教育長　皆さん、こんにちは。先日の朝ですが、ぐっと冷えた外で、子どもたちが登校していく様子を見ていました。高木から落ちた落ち葉が通学路を絨毯のように覆っていました。

すると、そこに男の子が１人、つま先で落ち葉をかき分けながらリズミカルに歩いていきました。その次に、３人組の女の子が手をこすり、お話を弾ませながら歩いていきました。

私が行く前から通学路の端に高学年の女の子が立っているのが気になって、どうしたのだろうなと見守っていると、そこを通った高齢の女性が女の子に挨拶をしました。女の子は、にっこりとほほ笑みながら元気に挨拶を返していました。多分お知り合いの方なのかなと考えました。私は、きっと高学年の女の子は同学年ぐらいの友達と待ち合わせをしているのかなと予想していました。そこに中学年の男の子２人と低学年の女の子１人の３人組が歩いてきました。すると、ずっと待っていた高学年の女の子は低学年の女の子に近づいて、話しかけて２人で歩いていきました。どんな関係なのか全く私は分かりませんけれども、それぞれの子どもたちが登校していく姿を見て、すてきな朝だなということを感じました。

それでは、ただいまより 11 月の定例教育委員会を開会いたします。よろしくお願いします。

２　前回会議録の承認

赤羽教育長　次第に従いまして、２番、前回会議録の承認について事務局からお願いいたします。

佐藤教育企画係長　前回、10 月定例教育委員会会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後、御署名いただきますのでよろしくお願いいたします。

赤羽教育長　よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

赤羽教育長　それでは、そのようにお願いいたします。

３　教育長報告

赤羽教育長　続いて、私のほうから教育長報告に入ります。２点報告いたします。

１点目です。今年度はＪＡＸＡ宇宙科学研究所清水敏文教授による小学生対象の宇宙に関する講座が今実施されています。対象学年は４年、５年、６年生で、広丘小、吉田小、桔梗小、塩尻西小、楢川小中学校が受講申込みを行いました。

清水敏文教授は、現在の塩尻市大門七区出身で、塩尻西小学校を卒業し、中学は塩尻西部中学校を卒業しています。専門は太陽物理学で、「ようこう」や「ひので」といった太陽観測衛星の開発研究に従事し、太陽の不思議や地球環境に影響を及ぼす太陽について観測的に解明を目指しています。現在は、2028 年度にＪＡＸＡがアメリカ・欧州の宇宙機関の国際協力を得て打ち上げる予定の次期太陽観測衛星ＳＯＬＡＲ－Ｃのプロジェクトマネージャーをやっております。

11 月 18 日午後、塩尻西小学校での講座に私も参加いたしました。清水教授が宇宙に出会ったきっかけは、塩尻西小学校で望遠鏡を使った観望会だったそうです。理科専科の先生は天体観測が好きで、望遠鏡を使って太陽の黒点の観測や、夕方児童を集めての月の観測で宇宙の不思議に彼が出会ったそうです。そして、母親からプレゼントされた宇宙百科事典、大人が読むものだそうです。次は、ねだって父親に買ってもらった天体望遠鏡。まずやったことは、一人一研究で、この望遠鏡を使って太陽のしみ、黒点を研究したそうです。ここからＪＡＸＡの職員へとなって、太陽の観測的解明を生涯かけての仕事として、現在、現役で大活躍されているそうです。

昨年ですが、子ども本の寺子屋の講師を務められて大好評だったそうです。今年度は、教育委員会事務局とスケジュール調整を行って、塩尻市の子どもたちへの講演会企画が誕生しました。

講演会は90分くらいありまして、最後の30分を使って、子どもたちからの質問と回答を行いました。子どもたちの質問は、人工衛星が金色の理由は。ロケット打ち上げ時間の決まりがあるの。使われていない宇宙のごみとなっている衛星の数は。清水先生は何機飛ばしたの。宇宙に端っこはあるの。ロケット１機の値段は。答えを言うと、その費用は誰が出すの。税金という話も出てきました。子どもたちの質問は続きました。一つ一つ、子どもに対して本当に丁寧に自分の言葉で回答している清水教授でした。

このように、地元出身のプロフェッショナルとの出会いの機会は、子どもたちの興味関心が高まるきっかけとなるなと強く感じました。清水先生から子どもたちへの質問がありました。今度はズバッと子どもたちが答えてしまう場面が何度もありました。

午前中は、桔梗小学校の講演会が同様に行われました。翌日、私が桔梗小学校の授業参観に行ったときです。５年生の教室での授業で、清水さんの講演会での話が出てきたのです。清水さんの生き方について、子どもたちと先生の間で、自然に盛り上がっていた場面に私は出会いました。清水さんの生き方に憧れていた授業のシーンが印象に残っています。

続いて２点目です。11月６日ですが、広丘小学校を会場に、市内の幼稚園、保育園、小学校の先生が集まって幼年教育研究会が行われました。広丘小学校の中にある３つの公立の保育園の年長さんと、小学校は５年生の各クラスに分かれての交流会を行った事例紹介がありました。ただ交流だけを楽しむのではなくて、お互いに狙いを、これをやろうというのが明確で、観る視点が明確になって実施することによって、交流活動のよさや課題も見えてきますと発表がありました。

また、大がかりな交流活動は準備や移動で負担になってしまうということで、逆に苦しくなることもあると。ですから、持続可能な交流活動を継続していくことが大事だというお話を、後半の学校ごとグループ討議で出されていました。

コロナ禍前ですが、年長さんと５年生がペアを組んでの交流活動を行って、年長さんが小学校１年生になったとき、５年生は６年生、この組合せは大変有効でした。新学期、６年生が１年生の教室に遊びに行くと、１年生は大人に甘えるように６年生と手をつないだり抱きついたりしている光景を見ます。また、６年生も弟や妹のように感じ、ふだん見たことのないような笑顔に出会ったこともありました。大きなお兄さん、お姉さんの存在は大きな安心感につながっていたなと感じました。このように、幼児期の子どもが心豊かに成長できるように幼児教育・幼児保育と小学校との連携を、今後も持続可能な形で大事にしていきたいと感じました。

私からの報告は以上であります。皆さん、学校訪問やイベント等たくさんあったわけですけれども、感想等含めてありましたら、この後、皆様からお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

碓井教育長職務代理者　今、教育長からありましたＪＡＸＡの方の講演会、先端を研究している方の講演会ですので、子どもたちは夢や希望をしっかり持てる時間であり、とても大切な場ではなかったかと、そんなことを思って聞かせていただきました。それで、聞き落としてしまいましたが、実施校は桔梗小と西小のほか、どこだったでしょうか。

赤羽教育長　広丘、吉田、楢川小中。

碓井教育長職務代理者　ほか、広丘、吉田、楢川小中の５校で行われたということで、対象は何年生であったのか、それと、ほかの学校から希望はあったのでしょうか。

赤羽教育長　分かりました。私より詳しく佐藤係長のほうから。

佐藤教育企画係長　今の５校にプラスしてもう１校、洗馬小学校も開催しています。

赤羽教育長　最初が洗馬小でしたね。

佐藤教育企画係長　はい、夏休み前に洗馬小学校で実施したのが最初になります。小学校で初めて宇宙について学ぶのは、４年生の理科の時間に月について学ぶ時です。そのため、４、５、６年生を対象とした講座とすることとし、全小学校から希望をとったところ、先ほどの６校から希望がありました。

碓井教育長職務代理者　ありがとうございました。先ほどの繰り返しになってしまいますけれども、子どもたちにとってこのような場はとても大事だというふうに思いますので、ぜひこういう機会があったら、また設けていただければと思います。

続いて、私から報告を１点お願いしたいと思います。11 月 13 日に長野市で、本年度第２回目の市町村教委連絡協議会の代議員会がありましたので、その折の内容について主なものを報告させていただきます。

会議の冒頭、県教委から２つ連絡がありました。１つ目は教員研修プラットフォーム、プラントというらしいのですけれども、そのことについてでした。これは文科省が構築した研修受講と研修受講履歴の記録を一元的に行うことができる新しいシステムで、これを使うことで、先生方が研修の申込みや受講の確認等を本人がワンストップでできて、自らの専門性を主体的に高めていけるようになるということでした。県では令和７年度から運用を始めるということで、市町村教委も承知しておいていただきたいということです。

２つ目は、県立高校の再編に関する基準等の再検討についてでありました。これは令和６年３月の県教委定例会で決まったということでした。その理由は、ＩＣＴ利活用による遠隔授業や合同授業など、学び方が多様になってきているということや、想定を上回る少子化の進行、通信制高校を選択する生徒等の増加などによって、中学校卒業者総数に占める公立全日制高校進学者の割合が減少傾向にあるということ等によって県教委で課題意識を持つに至ったということのようです。今後、検討の場を設けていくことも考えていると、そんなお話もありました。

それで、私は、今後の県立高校の在り方という点で、先月でしたか、定例教育委員会で徳武委員から、不登校を持つ親のお話会での中学生保護者の方の進路への心配等のお話もありましたし、不登校等のお子さんの進路実態等もありますので、県立高校についても公教育ということで、子どもたちの現状を踏まえた学びの場を一層広げていただきたい旨、少し意見要望を述べさせていただきました。

連絡は２つでしたが、そのほか会議では、市町村教委連絡協議会への市町村からの負担金を上げるお願いを検討しているということ。また、令和９年度の市町村教委研修総会の会場について、順番もあって、塩尻市を開催地にお願いしたいという打診もありました。最終決定は来年２月だそうですが、市町村教委研修総会は先月諏訪市で行ったもので、それを令和９年度は塩尻市でということであります。以上です。よろしくお願いします。

赤羽教育長　ありがとうございます。では続けて。

徳武委員　先月から今月にかけて大変たくさんの行事がありまして、いろいろ参加させていただきましたが、私は今話が出ました市町村教育委員会の研修総会の中の分科会に参加したことを報告したいと思います。私が行きましたのは立科町の発表でした。松並木の保存活動を通して、探究心と郷土愛の育成というテーマであったのですけれども、私は、郷土愛の育成というのに非常に興味を持ちまして参加させていただきました。簡単に言えば、立科町には小中高が各校１つずつしかなくて、この小中高３校によって、松並木の保存という活動を通して、先ほどの話ではないですけれども、異年齢交流を図って活動をしていくということが主な内容だったと思います。

それで、笠取峠にある松並木、中山道の芦田宿の少し上なのですが、実は、私はこの笠取峠を去年何度か通りまして、松並木があるのは知っておりました。少し個人的な話になるのですが、今、夫が佐久に単身赴任しておりまして、毎週笠取峠を通っているのです。私も引っ越しのときに何度か通って、あそこのことかと、そのときは素通りしてしまったものですから、逆にすごく興味が湧きました。

その松並木の清掃から始まって遊歩道の整備、それからパンフレットを作って、そこの松並木に来る観光客への案内ですとか、そういうことを行政のお手伝いを頂いて子どもたちがやっているそうなのです。小学生、中学生、高校生がみんなで集まってお掃除をしたりですとか、保存活動、あとは小学生が松の苗を育てて、それを植樹するということまでやっているそうです。

そういった活動を通して町を好きになるとか、自分の町にはこういった素晴らしい場所があるのだということを子どもたちに再認識してもらいたいというのを感じました。とにかく上手に行政がお手伝いしているなというのは感じましたし、また、各学校の先生方が３校で連携を取って、うまく子ども達のサポートができているなというのを感じました。

参加された方は、皆さん感想を述べていましたけれども、ぜひ松並木に行ってみたいという感想を持たれた方がすごく多くて、高校生と小学生が一緒に活動するなどということは普段なかなかないですから、すごくみんな興味を持ってその発表を聞いていたと思います。

立科町はそんなに大きくない町ですけれども、郷土愛を育むということをもとに、小学校、中学校、高校と上がる段階を経て、うまくつないでいるなというのをとても感じました。私もぜひ訪ねてみたいなというのをすごく感じております。とてもいい分科会だったと思っております。

それからもう１点、11 月 10 日「こども・若者いけんひろば」第３回のに私は参加させていただきました。第３回のテーマは「子どもの人権」でした。生まれながらに持つ権利ということで、それをテーマに、小学生から高校生まで８人参加していました。とても和やかな雰囲気で、子どもにとってはおしゃべり感覚で意見しやすい雰囲気であって、とてもよかったと思います。

「なんでやねんすごろく」というのを使って、双六のますにある子どもの何でという問いに関して、どうしてこんなことがいけないの、どうしてこういうことが起こってしまうのということを、実際に事例を踏まえながら、みんなで意見交換をしていたというのがとても印象的でした。例えば学校で、子どもには廊下は歩きなさいというのに先生が走っているのは何でとか、そういった具体的な例が出て、そういうのも。子どもが何でと言ってもいいのだよという権利だということでした。日常的にも、子どもだけではなくて、大人にも通じる権

利が子どもにもきちんとあるのだよということを教えてくれるような感じだったと思います。

最後に、塩尻市で決めるという子ども真ん中スローガンというのを子どもたちの意見を踏まえてつくるというテーマをやっていたのですけれども、初めは、市の担当者の方がこんなのはどうですかという案を３つほど出していただいてあって、それを元に子どもが組み替えたりとか、もしくは、新しいこんな言葉を入れたらどうだろうかというやり方でスローガンの作成をしていました。最終的にはこれらの意見を基に大人が決めるとは思うのですが、ぜひ子どもの出した意見を全部ではないですけれど、少しでも取り入れて、誰にでもわかりやすいスローガンをつくっていただきたいなと感じました。以上です。

赤羽教育長　ありがとうございます。ちなみに何か覚えているものはないですか。

徳武委員　言ってもいいのですか。

赤羽教育長　ぜひひとつ。

徳武委員　そこで話題になったのは、ＧＳＣという頭文字を使って、グレート塩尻チルドレンという言葉を入れたいということを言っていて、採用されるかどうかは分からないですけれども、そのアイデアがすごいなと思って。あとは、真ん中とか、子ども中心とか、あと、もちろん塩尻という言葉が入りますし、そういうのがよく出ていたなというのを感じました。子どもたちのアイディアが面白かったです。

赤羽教育長　ありがとうございました。では、続けてお願いします。

八島委員　私からも長野県市町村教育委員会研修総会についてと、一部地域活動の様子を報告させていただきます。まず、長野県市町村教育委員会研修総会の感想からお願いいたします。10 月 25 日諏訪市文化センターで開催されました。午前中は、一般社団法人ＵＮＩＶＡの理事である野口晃菜さんによる講演会を拝聴させていただきました。多様な子どもがいることを前提としたインクルーシブ教育を進めるための理論や実践例を紹介されて、教育や社会の普通をアップデートすることの大切さを学ばせていただきました。

気づきや納得させられる場面が多々ありました。印象的であったのは、まずはテーマです。「多様な子どもたちがいることを前提としたインクルーシブ教育」この前提といった表現に私は引きつけられました。通常このような講演会でよく聞くテーマは、多様性とはや、多様性について考える、または今の学校の見直し方などの表現が多いと思いますが、この前提という言語を使うことによって、インクルーシブ教育や社会が成り立つためには、多様な子どもたちがいることはもはや当然であり、あらかじめ満たされていなければならない条件であることを示唆していいると感じました。多様性とは何かを考え合う立ち位置では、時代はないのだなと感じさせられました。

社会的障壁は日常の中に限りなく存在していて、社会は、障がいがないマジョリティー仕様作られており、マイノリティーである障がいのある人たち仕様に想定されていない。だからこそ、障壁をなくすことが合理的配慮であり、さらに、配慮ではなく調整と考え、まずは意見を表明できる環境づくり、意見を認め、選択して対応していくこと、インクルーシブな学校のためには、いろいろな人の特徴や困り事に合わせて、今の学校の普通をアップデートすることが大切であると語られていらっしゃいました。

具体的な例も数々紹介してくださいましたが、気づかされることが多くありました。例えば視覚障がい者は、わさびとからしのチューブどちらか分からない。確かにそうだなと言わ

れて初めて気づきました。私たちは視覚で認識しますが、視覚障害者は、チューブを触ったのみでは、味の見分けはつきません。

ちょうど行きの車内で、シートベルトの話題となりました。私、身長が 150 センチ満たないのですが、自家用車であれば、クッションや座席の調整をしますが、今度はアクセルが届きにくくなります。他人車に同乗させていただくと、シートベルトが首に当たってしまい、とても苦しいのです。だからといって、クッションをいつでも持ち歩くわけにもいかないですし、ときに調整できる車もありますが、なかなかそういった低身長の苦労はあります。まさに今回、実践例でも取り上げられており、びっくりいたしました。事故に遭い重傷を負う確率は、女性は男性より 47%高いそうです。中等度の傷害を負う確率は、なんと 71%も女性のほうが高い結果が出ているそうです。その理由は、男性仕様を基準に車は設計されているため、女性を守る造りになっていないからであると。女性であり、なおかつ、私のような小柄な体型であると、さらに事故率は高く、死亡率も高いのであろうなと感じました。

日常でのいろいろ事を考えてみましたが、例えば椅子問題はハイリスクです。パイプ椅子は平均身長に合わせた作りとなっているのか、私には少し高めです。座ると全く足が届かず、背もたれまで腰のほうを移動させることができません。腰を奥に添えて背をつけて腰かけると、全く足は床に届くことなく、中に浮いてしまいます。その為、パイプ椅子に長時間腰かけることは大変で疲労が出現します。生活上では、当たり前のように自分自身が調整をして耐えてることが多々あるなと感じますが、これからは当たり前に自己調整するのではなく、きちんと表現、発言をしていくことがインクルーシブ社会へつながっていくと改めて感じさせていただきました。

午後の分科会では、私と碓井教育長職務代理は、松本市教育委員会の発表を拝聴いたしました。制服や新入学用品等の購入に関する提言書の公表に至るまでの経過や成果の報告が主でした。帰りの車内では制服の話題で盛り上がりもしましたが、このように困り事や自分の考えを表明できる、意見をたくさん収集しながら、新しい形を一つ一つ積み上げていくことが、今取りかかるべき役割であり、行動であるのだろうと改めて感じさせていただきました。もう多様性を強調する時代ではなく、多様性を前提とした多様な意見を集め、個ではなく新しい団をつくりをしていく時代へと変化してきたなと感じます。

続いて２点、ＰＲをさせていただきます。吉田のマスコット「ちご鳥」が誕生して８年が経過しました。当時より着ぐるみの提案をさせていただいておりましたが、予算のめどが立たず、先送りというよりは、もはやお蔵入り状態となっておりました。クリアファイルやうちわ、シールなどの小物はいくつか作成していただいておりましたが、着ぐるみをつくることは不可能であろうとあきらめておりましたが、今年度元気づくり支援金を活用し、先日ようやくちご鳥の着ぐるみが完成し、保育園小学校、そして吉田地区の皆さんにお披露目式ができました。どこかでお目することがありましたら、ぜひ皆さん、かわいがってあげてください。

次に、広丘駅前西口ロータリーにイルミネーションが点灯されました。丘中学校ダスクに参加した８名が、広丘商工会青年部の皆さんに御指導いただきながら完成させました。駅付近に足を運ばれるときは、ぜひ観覧ください。以上です。

赤羽教育長　ありがとうございました。続いて、甕委員お願いします。

甕委員　毎朝、見守りで立つのですけれど、西小学校の西側の歩道のところに、たばことか、空き缶とかマスクとか、たくさんポイ捨てがあって、敷地内と周りを歩いてごみ拾っているのですけれど、あそこのフェンスに、皆さん御存じかどうか分からないのですけれど、児童たちが書いたポスターが貼ってあるのご存じですか。ポイ捨ては駄目だよという。それなのに、そこにポイ捨てする神経が信じられないというのがあって、どうしたもんかなと思いながら、今日ここに参りました。まず、頭にきていることを１つ先に言わせていただきます。

私は、教育長の先ほど桔梗小学校の授業参観というお話がありましたが、私もここから報告させていただきます。２年生のクラスで、タブレットを使って新聞を作っていたのですけれど、内容はスケート教室などの行事の新聞、とても上手に作っていて、２年生であれだけの新聞が作れるのは、やはりＩＣＴの先生方の努力のたまものだなというふうに見させていただきました。

また、桔梗小は今年から、のびしろステージといいまして、西小で行っている西小ライブのようなステージ発表なんかもやっているのですけれど、それもちょうど次の日にあったので、見に行きました。体育館のステージの上に６人、先生と児童が立ってダンスをする。どのくらい見にくるのかなと思ったら、あの体育館の半分ぐらい埋まる児童が来たのです。様子を見ていると、先生たちも何も言ってないのに、ステージ下に正座して見はじめて、みんなで手をたたいて応援をしているのです。やはりこういう活動はすごく大事だなというふうに思ったので、今後ものびしろステージ、続けていってほしいなと思いました。

先日、こんにちは教育委員会で、楢川小中学校に行かせていただいて、各グループで出た話はそれぞれまとめていただいたと思うのですけれど、その中で、キャリア教育に対して授業をしてくださる人材がいれば、ぜひリストアップしていただいて、先生たちが、総合の時間とか道徳の時間に選んで講師をしてもらうというようなシステムがあるとありがたいなというお声がありました。それならすぐできそうな感じもするので、ぜひ、そういった道徳や総合の時間に、キャリア教育になるような講師を選任しておいてもいいのかなと思いました。

あと、先月になってしまうのですけれど、ハッピーハロウィーンｉｎしおじりのときには、市の職員の方々もお手伝いいただいて、ありがとうございました。今回は、安全協会のほうから大門地区の人たちに協力していただけなかった部分、安全面が本当に心配だったのですけれど、高校生 40 人ぐらいにボランティアに入ってもらってお菓子を配ってもらったおかげで、私たち大人は安心して見守りが出来ました。

高校生たちも、地域の子どもたちがこんなに来てくれて喜んでくれたというのが、すごくうれしかったみたいです。ざっとですけれども、去年は１万人ぐらい、今年は１万 5,000 人ぐらい来場者があったということだったのですが、事故もなく終わってよかったなと思いますし、高校生たちにそういう役割を与えることで、それぞれが考えて動いてくれたりすることが分かったので、とてもよかったと思います。

先ほど八島委員のイルミネーション設置のときも、私、行ったのですけれど、ちょうどぎっくり腰で全然使い物にならなくて、見ているだけだったのですが、中学生たちも本当に配線とか考えながら、今まで自分たちが考えつかなかったような形状に作って張ってくれた姿を見ていたら、このような経験をさせて、考えさせて、チームで何かを作っていくというのはすごく大事なことだなと考えさせられました。

少し話が違うのですけれど、商工会議所で塩の道会議というものが行われまして、そのときに、大町の商工会議所から頂いたマチスコという。これ回してください。タバスコみたいなものですけれど、マチスコという甘酸っぱい味とニンニクが効いた辛い調味料なのですが、それをもらったのです。

食べてみたらすごくおいしかったので、ちょうど大町の教育委員に私の先輩がいるので、これはどういう経緯で作っているのですかという話を伺いました。そうしたら、大町中学校の特別支援のこぶし学級というクラスで、唐がらしとニンニクを栽培して、社会福祉協議会の人たちと協力して商品を出しているとのことでした。そうやって地域と連携して、自分たちが商品を作って、それをまちの人たちが喜んでくれているというのを、特別支援の子たちはすごく喜んでいて、それが今とても反響があって、まちの飲食店もそれを推したメニューを作って地域全体で学校を盛り上げているようです。

そうやって特別支援の子たちも、自分たちが作ったものをみんなが喜んでくれているということで、社会の一員なんだと自身へと繋がる学校教育、それを理解して指導してくれている先生方をありがたく感じました。また、本市でもコミュニティ・スクールなどとも連携して、そういった商品開発などもできていったらいいなと思っています。先ほどのキャリア教育ではないですけれど、このような方法も一つあるかなというふうに思いました。いろいろありますけれど、以上です。

碓井教育長職務代理者　それでは、３点お願いいたします。１点目は、西部中での火災についてであります。今月初旬に西部中で機械を焼く火災があったという報道がありました。このことについては事務局からも連絡をいただいて、生徒の活動には支障がない、原因は調査中というようなことでありましたけれども、その後の様子はどうなのか、分かる範囲で教えていただければということが１点目です。

それから２点目ですけれども、公民館活動について、広丘公民館で広丘地区の小中学生を対象に補習塾を開校したという報道がありました。つまずいているお子さんを地域でサポートすることは本当にすばらしいことだと思います。ただ、公民館の活動の中で、子どもたちの居場所プラス学習支援ではなくて、有償の補習塾としているようなのですけれども、その理由とか、現在の状況等について教えていただければという点が２点目です。

それから３点目は、11 月 12 日に劇団四季のファミリーミュージカル「ふたりのロッテ」が行われたのですけれども、それについてであります。私、教育長や八島委員と共に観劇させていただきました。ミュージカルの内容は、結婚や離婚を扱ったもので、今の時代にやや微妙かなという感じを若干持ちましたが、一流の劇団のミュージカルでありましたので見応えがあって、私自身、感動した場面が幾つもありました。子どもたちもミュージカルから感じたことが多々あったのではないかと思います。対象は６年生でしたか。観劇した子どもたちにとって、先ほどのＪＡＸＡの講演会ではないですけれども、それと同様に、未来に向けて、とてもいい学びの機会だったのではないかと感じました。

パンフレットを見ると、このミュージカルは、全国何か所かで行っているように記されていましたけれども、よくこのような一流の劇団のミュージカルをここ塩尻で見ることができたなと思いましたので、レザンホールで開催されるようになったいきさつ等について教えていただければということでお願いしたいと思います。以上、３点です。

百瀬こども教育部長　１点目の火災についてなのですが、後ほど、協議会で御報告させていた

だこうと思いましたけれども、この場でお話が出ましたので報告させていただきます。８日の夜８時頃、我々も連絡を受けまして、その場で教育長、課長に現場に飛んでいただいて、私はこちらの事務局に来て、いろいろな情報を共有させていただいて。最初は、床尾の高層階の火災だという連絡が来たのですが、まさか学校だとは思わずに。危機管理課のほうから西部中学校だという形で課長のほうに連絡が来て、それぞれに連絡を取り合って、現場へ行かせていただきました。

状況については、一旦、月曜日にそれぞれ御連絡をさせていただいたかと思うのですが、その火災が起きた原因も含めて、交流文化部のほうから少し御報告をさせていただきますのでお願いします。

胡桃交流文化部長　現在市内では、西部中を含めて、丘中学校と西小学校で学校開放事業を実施しております。西部中につきましては、平成 10 年に特別教室棟を造った際に、地域に開かれた学校ということを目的に、その特別教室棟を造ったという経緯がございますので、それ以来、地域の方を中心に 10 団体くらい、美術、工芸、音楽等で特別教室棟を、授業の終わった平日の夜、土日、祝日に開放してきたものでございます。

今回、西部中では、工芸の方たちが当日作業をしておったのですけれども、その中で何かしらの原因によって火の粉が、おがくずというか木くずのほうに移って、ごみを集める集じん機のパイプの中で発火したということが主な原因だと聞いております。

既に消防と警察の現場検証は終わっておりまして、今後は、保険をどうするかというところも詰めていくこととなりますが、なかなかコロナ禍もあり、一時期活動が停滞してしまった時期もあり、コロナ禍前は実施していた利用者会議というものもなかなか開けていなかったというところがございます。

それから、今回、学校教育課では、何かあった場合の連絡体制が整っており、教育長はじめ関係者が現場へ駆けつけられましたが、実際使用していた学校開放の担当としては、なかなかその情報を共有できなかったというところなど、幾つか問題点が分かってきましたので、その辺を含めて、きちんと学校と今後どうしていくかというところ、それから利用者はどういった形で利用するのがいいのかというところをもう一回整理して、今後も引き続き学校開放を続けてまいりたいと考えておりますと共に、学校開放で培ったものを生徒にも還元をするといった目的もありますので、その辺も含めて、今後見直しをし。引き続き、学校開放事業を継続していきたいという方向で話を詰めていきたいと思っております。

赤羽教育長　この件はよろしいですか。

碓井教育長職務代理者　この件については、今御説明もいただきましたけれども、西部中学校区で、今まで学校を使った地域の社会教育活動が長年続いてきているということは承知しています。活動上、安全安心には十分配慮をいただくことが大事だと思いますけれども、このことで、今まで培ってきた社会教育活動の縮小等がないように私は願っておりますので、そんな点、御配慮いただければと思います。

赤羽教育長　では、続けて２つ目のところを。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長）　広丘公民館での有償での補習塾の経緯につきましては、私、詳細を承知しておりませんので、確認した上で後ほどお伝えしたいと思います。よろしくお願いいたします。

レザンホールのこころの劇場の経緯でございますけれども、今お話がありましたように、

劇団四季が全国で展開をしている、子どもたちが本物の舞台演劇を鑑賞できる機会を慈善事業として行っているものが塩尻市で毎年行われているというものでございます。いつ始まったかというような経過につきましては、実は昨日も話題になったところなのですが、今確認中でございます。劇団四季の一般向けの公演がレザンの自主事業として毎年行われておりますので、そんなことから、塩尻市の文化振興事業団と劇団四季との関係の中で、塩尻で開催ができているということかと承知しております。今後も継続して行っていただけるものと思っておりますけれども、そこら辺の経緯も確認しながら、今後も続けていけるような形で、できることをしてまいりたいと思います。

赤羽教育長　では、この件に関してありましたらお願いいたします。

碓井教育長職務代理者　こころの劇場についてお話をいただきましたが、このような機会は子どもたちにとって非常によい体験になると思いますので、ぜひ続けていっていただければと思います。

胡桃交流文化部長　先ほど碓井教育長職務代理者から、どのくらい行われるかということがありましたので、劇団四季のホームページによりますと、2008 年から全国、北は北海道利尻島から、南は沖縄県石垣島まで、年間約 140 都市、400 公演を実施しているということで、先ほど課長も申し上げましたが、全国の子どもたちに演劇の感動を届けるプロジェクトということで実施しているということでございます。

赤羽教育長　そのほかで何かありましたらお願いします。

甕委員　小学校とかで社会科見学をやっていると思うのですけれど、その見学先は、例えば、こちらで指定した場所を選ぶような形なのですか、それとも、各学校に任せているものなのですか。

上條学校教育課長　過去に見学したことがある企業があれば、その時の流れで、再度、紹介をしてもらうという形になろうかと思います。基本的には、学校が企業を選んでいただいている状況でございます。

甕委員　なぜ聞いたかというと、先日、松本歯科大学の事務長と話をしたときに、どんどん社会科見学で来ていただきたいというお話をいただいたので。医療系の大学が近くにあって、こんな場所を見られる機会はなかなかないと思うので、差し障りがなければ、ぜひそういった見学先を入れてもいいのではないかという提案でした。ありがとうございます。

赤羽教育長　皆さん、そのほかによろしいでしょうか。

ありがとうございました。それでは、次に行きたいと思います。

○報告第１号　　主な行事等報告について

赤羽教育長　それでは、報告第１号、主な行事等の報告についてお願いします。資料１ページから４ページです。事務局から説明をお願いいたします。

矢澤市民交流センター長（図書館長）　１ページを御覧ください。私からは、図書館の事業報告をさせていただきます。１ページ目の一番上、しおり部ですが、高校生から大学生の図書館ボランティアの活動ということで、３名の方に参加をいただいて、２月１日・２日に行うリニューアルオープンイベントで、活動をしていただくことになり、その準備ですとか、あとは、例年、選書をしていただいて、高校生から大学生の参加者たちのお薦めする本を購入していまして、興文堂書店平田店へ選書に行っていただいております。

信州しおじり本の寺子屋は、この期間で３回講演を行ってございます。まず、10 月 20 日に､｢ちひろ没後 50 年｣ということで松本猛さんの講演会を北部交流センターで行いまして、100 名の方に御参加いただいております。ちひろ美術館常任顧問であり、いわさきちひろさんの長男である松本猛さんの講演会は大変好評をいただきました。

それに併せまして、２ページのほうにございますが、10 月 16 日から 10 月 27 日、いわさきちひろ複製画展ということで、こちらのほうも北部交流センターに展示をさせていただいて、たくさんの方に見ていただきました。

10 月 30 日、信州しおじり本の寺子屋、古田晁記念館文学サロンを開催しました。２ページ、３ページ両方に書いてございますけれども、まず講演会のほうとしましては、2023 年太宰治賞受賞者で作家の西村亨さんに、第一部としまして御講演をしていただきまして、引き続き第二部として、フリーライターの永江朗さんを招いて、北小野支所で、公民館のほうで開催をいたしました。もともと古田晁記念館文学サロン単体で行っていた際は、北小野支所、公民館のほうで開催していたものでございます。本の寺子屋となりまして、久しぶりに北小野公民館のほうで開催をして、51 名の方に参加をいただけて、喜んでいただいた部分もございましたので、よかったと思っております。

併せまして、10 月 30 日、古田晁さんの命日ということで、古田晁記念館の見学と墓参ツアー滂沱忌と称しまして開催をいたしました。命日 30 日に合わせて行いまして、18 名の方に出席をいただいて、皆で墓参をさせていただいて、その後、古田晁記念館を見ていただいております。

１ページ目に戻っていただきまして、ビジネス情報相談会ミニセミナー「Ｃａｎｖａ使い方セミナー」ということでやらせていただきまして、17 名の参加をいただいてございます。私からは以上です。

赤羽教育長　ありがとうございました。続いてお願いします。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長）　３ページの下段ですけれども、例年開催をしております塩尻市民文化祭ですが、今年度は文化の日、11 月３日を中日として２日・３日・４日の３日間開催をいたしました。名称が秋の文化祭となっておりますけれども、今年度から、６月の芸術祭を市民文化祭と名称を変更いたしまして、これに合わせて、「秋の」を加えた秋の文化祭ということで名称を変えて、内容は例年どおりですけれども、行っております。

開催内容欄に記載のとおり、展示発表の部と舞台発表の部。展示発表の部は、総合文化センターと市立体育館で、実行委員会所属 24 団体ほか、公募団体、公募個人などによる展示。また、東京都市大塩尻高校の書道部による書道パフォーマンスを実施。また、農産物や陶芸作品の販売なども行いました。舞台発表の部は、レザンホールの大ホールと中ホールで、協会所属の 27 団体が記載の内容で発表を行いました。参加者数にありますように、展示発表の部、約 1,000 人、舞台発表の部、約 600 人の参加を得まして、今年度も文化祭を開催いたしましたので報告いたします。以上です。

上條学校教育課長　続きまして、４ページを御覧ください。こども教育部の報告になります。10 月 27 日に北小野の塩嶺体験学習の家におきまして、将来のリーダーの育成を目的に、こども未来塾「小学生リーダー研修」の２回目を開催し、20 名の小学生が参加いたしました。小学校６年生の児童を対象に、リーダーとしての資質を高めることを目的としたゲームや、

塩尻市長からの講話をいただき、塩尻市で活躍するリーダーの講話や本市の未来について市長との対話を行いました。また、市長の講話や対話を通じまして、リーダーに必要な力などを学ぶ機会を提供するとともに、他校の同じような立場の児童との交流や情報交換を通じまして、相互に啓発することができました。説明は以上となります。

赤羽教育長　ありがとうございました。それでは、委員の皆様から質問、御意見がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。よろしいでしょうか

それでは、次に参ります。

○報告第２号　　12 月の行事予定等について

赤羽教育長　報告第２号、12 月の行事予定についてお願いいたします。資料５ページです。皆さん全員に関わるものは、26 日に定例教育委員会・協議会があります。皆様の御出席をお願いします。そして、豊かな心を育む市民の集いなどの行事がありますので、御都合がつきましたら、御覧いただければと思います。

見ていただきまして、御質問等ありましたらお願いいたします。

碓井教育長職務代理者　15 日の、これは「わっこ」と読めばいいのですか。そこの大学生と一緒に語ろう、第１回、これはどんなものなのでしょうか、教えていただければ思います。

矢澤市民交流センター長（図書館長）　ｗａｃｃｏといいますのは、前、ちびてつという名前で哲学対話を信大生と一緒にやらせていただいていたものを全くリニューアルさせていただいて、新たに組立をして、今回初めて、第１回目として行うものになります。

碓井教育長職務代理者　分かりました。

赤羽教育長　よろしいでしょうか。そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、次に進みます。

○報告第３号　　後援・共催について

赤羽教育長　報告第３号、後援・共催について、資料６ページから８ページであります。見ていただきまして、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。ありがとうございました。それでは、報告のとおり御承知おきください。

本日予定されていました案件は以上でございますが、委員の皆様から何かありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、事務局から何かありましたらお願いします。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長）　先ほど御質問のありました広丘公民館での補習塾ですけれども、お答えいたします。まず、なぜ有料なのかということにつきましては、募集のチラシにも記載をして周知をしているのですけれども、「無料では、生徒と指導者の立場があやふやであったり、無料に見合った指導になる」というようなことを理由にいたしまして、有料で行います。

ただし、これは営利目的ということは全くございませんで、広丘公民館長の企画で、指導者につきましては、教員免許を有する大人と、日頃、広丘公民館を利用している高校生、大学生が務めます。月額小学生 2,000 円、中学生 3,000 円の受講料は全て、指導に当たる方々

の報酬として、手当として支払うということによって、その補習塾での指導の質を保証するというようなことをうたいまして、授業の内容をおさらいするという内容です。補習塾という名称で行うということで、受験に資するような指導は行いません。あくまでも学校の授業の補習としておさらいをしまして、学校の授業に少しついていきにくいような子どもたちを地域の大人たち、高校生、大学生がえんてらすでお力添えをすると、そういう趣旨で実施しているということでございます。

後ほどチラシを用意いたしまして、協議会の折にお配りしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。以上です。

赤羽教育長　では、この件に関してお願いします。

碓井教育長職務代理者　内容を、私、よく理解していないので、いろいろと申し上げられない部分もあるのですが、営利目的ではない、おさらい中心だということでありますけれども、公民館活動というのは何なのかということについて、また私自身、勉強を深めていきたいと思います。

赤羽教育長　そのほか、事務局からございますか。よろしいでしょうか。

５　閉会

赤羽教育長　それでは、以上をもちまして 11 月定例教育委員会を閉会といたします。皆さん、ありがとうございました。

○　午後３時 38 分に閉会する。

以上

令和６年 12 月 26 日

署　　名

教　　育　　長

同職務代理者

委　　員

委　　員

委　　員

記　録　職　員　　学 校 教 育 課
教 育 企 画 係 長